

名古屋市 生活状況に関する調査報告書

令和 6 年 3 月

目 次

第1章 調査の概要

1	調査の趣旨	1
2	調査の内容	1
(1)	調査実施概要	1
	ア 調査の対象 イ 抽出方法 ウ 調査方法 エ 調査期間	
	オ 有効回答数及び有効回答率 カ 調査内容	
(2)	ひきこもり群について	
	ア ひきこもり群の定義	2
	イ ひきこもり群の出現率および推計結果	4
3	調査結果のまとめ	6

第2章 アンケート回答結果【本人調査】

1	単純集計及びひきこもり群別の集計	10
2	単純集計及びひきこもり群別の集計（年齢階層別）	
(1)	ご自身や家族のことについて	
	ア 性別（問1）	23
	イ 年齢（問2）	24
	ウ 同居者（問3）	25
	エ 主に生計を支えている人（問4）	28
	オ 暮らし向き（問5）	31
	カ お住まいの区（問6）	32
	キ 通院・入院経験のある病気（問7）	35
(2)	就労・就学等の状況について	
	ア 最終学歴（問8）	38
	イ 現在の仕事（問9）	39
	ウ 就業経験（問10）	42
	エ 就職又は進学希望（問11）	43
	オ 就職活動（問12）	44
	カ 就職、進学、就職活動をしなかった理由（問13）	45
(3)	生活状況について	
	ア 自宅でしていること（問14）	48
	イ 情報を得ているもの（問15）	51
	ウ 知っている本市の相談機関等（問16）	54
	エ 普段の外出頻度（問17）	57
	オ 現在の外出状況になってからの期間（問18）	60
	カ 現在の外出状況になった年齢（問19）	63
	キ 家族以外の人との会話の状況（問20）	64
	ク 現在の外出状況になった理由（問21）	65
	ケ 現在の状態について、関係機関に相談したいか（問22）	68
	コ どのようなところなら相談したいか（問23）	69
	サ 相談したくないと思う理由（問24）	72
	シ 関係機関に相談した経験（問25）	75

ス 相談したことがある相談機関等（問２６）	76
セ 相談した結果について（自由記述）（問２７）	79
ソ 不安要素についてあてはまること（問２８）	80
タ これまでの経験（問２９）	83
チ 過去の外出頻度（問３０）	86
ツ その外出状況になったきっかけ（問３１）	88
テ その外出状況が改善したきっかけや役立ったこと（問３２）	91
（４）周囲とのかかわり方について	
ア 人とのつきあいが無いと感じる（問３３－①）	94
イ 取り残されていると感じる（問３３－②）	95
ウ 孤立していると感じる（問３３－③）	96
エ 孤独であると感じる（問３３－④）	97
オ 家族とのかかわり方の満足度（問３４－①）	98
カ 家族以外の人とのかかわり方の満足度（問３４－②）	99
キ 社会とのかかわり方の満足度（問３４－③）	100
ク 同居者とのコミュニケーション頻度（問３５）	101
ケ 同居者とのコミュニケーション内容（問３６）	102
コ 同居していない人と直接会って話す頻度（問３７－①）	103
サ 同居していない人と電話で話す頻度（問３７－②）	104
シ 同居していない人とSNS等をする頻度（問３７－③）	105
ス 悩み事を誰かに相談したいか（問３８）	106
セ 悩み事を相談する相手（問３９）	107
（５）その他	
ア 外出できない方への支援で必要だと思うもの（問４０）	110
イ 必要な支援について（自由記述）（問４１）	113

<参考資料>

アンケート回答結果【同居者調査】	118
調査票（単純集計結果付）ご本人用	185
調査票（単純集計結果付）同居されている方用	201
集計表【本人：15～39歳】	213
集計表【本人：40～64歳】	222
集計表【同居者：15～39歳】	231
集計表【同居者：40～64歳】	237